

HakuhodoDY holdings

# 2015年3月期 第1四半期 連結決算概要

2014. 8. 5

## 見通しに関する注意事項と会計監査について

この資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、将来の数値・数額、事実の認識・評価などといった、将来に関する情報をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎としているものであります。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も、また将来その通りに実現するという保証もありません。

これらの事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないこととなりうるリスクや不確定要因は多数ありますが、以下のものが含まれます。

- (1) 広告業界全般に関するリスク（景気変動や取引慣行の変化など広告業界の動向）
- (2) 法規制の改正に関するリスク
- (3) 広告主およびメディア会社に関するリスク（取引先ニーズの変化への的確な対応）
- (4) 競合によるリスク（他の広告会社や新規参入企業等との競合状況）
- (5) 市場構造変化を捉えた事業領域の拡充に関するリスク
- (6) グローバルな事業展開に関するリスク
- (7) 訴訟等に関するリスク

なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

本資料内にあります業種別売上高、種目別売上高ならびに主要な子会社の業績概要につきましては、当社独立監査人の監査を受けておりません。

# 2015年3月期 第1四半期 連結業績

# 2015年3月期 第1四半期 連結業績（1）

## 消費増税の影響も小さく、増収増益でスタート

### ◎売上高：2,597億円、前年同期比+5.4%

- ・一部の業種、得意先では、消費増税前駆け込み需要の反動減があったが、全体としては、堅調なマクロ環境を受け、前年同期を上回る。

》業種別売上高：増加業種「情報・通信」「化粧品・トイレタリー」「食品」

：減少業種「自動車・関連品」「不動産・住宅設備」「出版」

》種目別売上高：「4マスメディア計」「4マスメディア以外計」ともに前年同期を上回る。

テレビ、インターネットメディア、マーケティング/プロモーションを中心に増加。

### ◎売上総利益：444億円、前年同期比+9.0%、+36億円

### ◎売上総利益率：17.1%、前年同期比0.6ポイント向上

- ・前年同期は、まだ収益改善効果が高くなかったこともあり、前年同期比では売上総利益率が大幅に向上。これまで同様、グループ各社の収益性向上への取り組みと制作業務のグループ内製化率を高く保つことで、高い売上総利益率を維持。

### ◎販管費：386億円、前年同期比+4.6%、+17億円

- ・連結範囲変更の影響も小さく、ゆるやかな費用増。

### ◎営業利益：57億円、前年同期比+52.3%、+19億円

- ・前年同期の売上総利益率が高くなかったこととゆるやかな販管費増により、大幅な増益。

### ◎当期純利益：27億円、前年同期比+113.5%、+14億円

## 2015年3月期 第1四半期 連結業績 (2)

(単位：百万円)

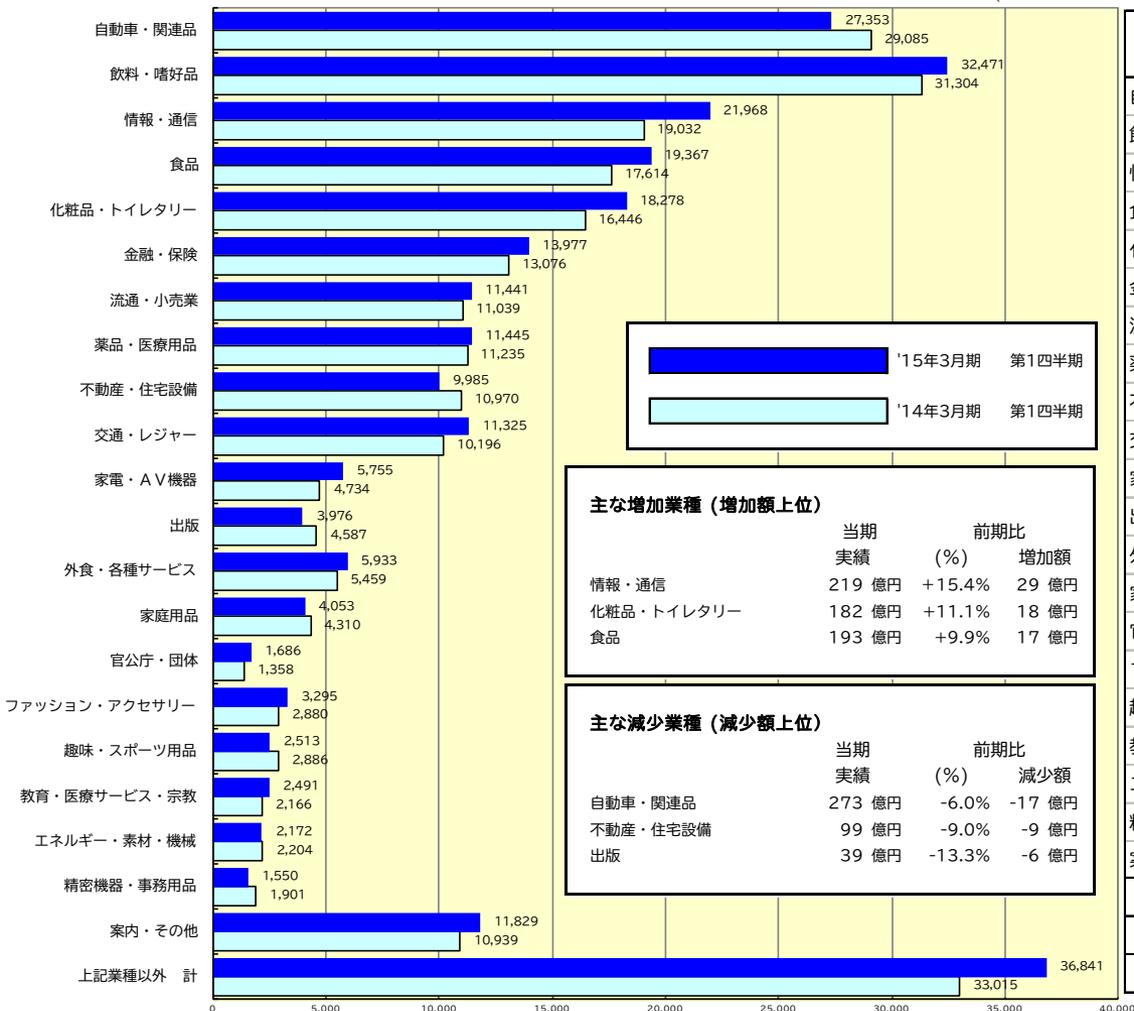
	第1四半期			
	'14年3月期	'15年3月期	前年同期比	
			増減額	(%)
売上高	246,437	259,705	13,268	5.4%
売上総利益	40,780	44,470	3,689	9.0%
(売上総利益率)	(16.5%)	(17.1%)	(+0.6%)	
販管費	36,991	38,698	1,706	4.6%
営業利益	3,788	5,771	1,983	52.3%
(オペレーティング・マージン)	(9.3%)	(13.0%)	(+3.7%)	
営業外損益	399	528	129	
経常利益	4,187	6,300	2,112	50.5%
特別損益	(157)	122	279	
税引前利益	4,030	6,423	2,392	59.4%
当期純利益	1,299	2,773	1,474	113.5%
のれん償却額	244	286	42	17.2%
のれん償却前営業利益	4,033	6,058	2,025	50.2%
のれん償却前 オペレーティング・マージン	9.9%	13.6%	3.7%	

(オペレーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

## 業種別売上高 (1)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



## 主な増加業種 (増加額上位)

	当期 実績	前期比 (%)	増加額
情報・通信	219 億円	+15.4%	29 億円
化粧品・トイレタリー	182 億円	+11.1%	18 億円
食品	193 億円	+9.9%	17 億円

## 主な減少業種 (減少額上位)

	当期 実績	前期比 (%)	減少額
自動車・関連品	273 億円	-6.0%	-17 億円
不動産・住宅設備	99 億円	-9.0%	-9 億円
出版	39 億円	-13.3%	-6 億円

	'15年3月期 第1四半期	前年同期比		当期 構成比
		額	(%)	
自動車・関連品	27,353	(1,732)	-6.0%	12.3%
飲料・嗜好品	32,471	1,167	3.7%	14.6%
情報・通信	21,968	2,936	15.4%	9.9%
食品	19,367	1,752	9.9%	8.7%
化粧品・トイレタリー	18,278	1,832	11.1%	8.2%
金融・保険	13,977	902	6.9%	6.3%
流通・小売業	11,441	402	3.6%	5.1%
薬品・医療用品	11,445	210	1.9%	5.1%
不動産・住宅設備	9,985	(985)	-9.0%	4.5%
交通・レジャー	11,325	1,129	11.1%	5.1%
家電・AV機器	5,755	1,021	21.6%	2.6%
出版	3,976	(611)	-13.3%	1.8%
外食・各種サービス	5,933	474	8.7%	2.7%
家庭用品	4,053	(257)	-6.0%	1.8%
官公庁・団体	1,686	328	24.1%	0.8%
ファッション・アクセサリ	3,295	416	14.4%	1.5%
趣味・スポーツ用品	2,513	(373)	-12.9%	1.1%
教育・医療サービス・宗教	2,491	325	15.0%	1.1%
エネルギー・素材・機械	2,172	(33)	-1.5%	1.0%
精密機器・事務用品	1,550	(351)	-18.5%	0.7%
案内・その他	11,829	890	8.1%	5.3%
上記業種 計	222,865	9,443	4.4%	100.0%
上記業種以外 計	36,841	3,826	11.6%	
合計	259,705	13,268	5.4%	

注① 業種別売上高での「上記業種計」と種目別売上高での「上記種目計」との金額が同額となっております。これは、グループ会社の一部において、現在、売上高を種目別に区分できるものの、業種別に区分できない会社があるためです。それらの会社の売上高は、種目別売上高において各種目別に集計しておりますが、業種別売上高においては業種別に集計していません。

注② 上記の棒グラフは、「上記業種以外計」「案内・その他」を除いて、2014年3月期通期における業種別売上高上位の金額の順に並べております。

## 種目別売上高（1）

（単位：百万円）

	第1四半期		第1四半期		前年同期比	
	'14年3月期	構成比	'15年3月期	構成比	増減額	(%)
新聞	14,841	6.5%	14,312	6.0%	(529)	-3.6%
雑誌	5,379	2.4%	5,271	2.2%	(108)	-2.0%
ラジオ	3,346	1.5%	3,459	1.4%	113	3.4%
テレビ	102,070	44.7%	106,067	44.4%	3,997	3.9%
4マスメディア 計	125,636	55.1%	129,109	54.0%	3,473	2.8%
インターネットメディア	24,020	10.5%	28,153	11.8%	4,133	17.2%
アウトドアメディア	9,665	4.2%	9,361	3.9%	(303)	-3.1%
クリエイティブ	24,124	10.6%	24,615	10.3%	491	2.0%
マーケティング/プロモーション	41,703	18.3%	44,699	18.7%	2,996	7.2%
その他（コンテンツ等）	2,993	1.3%	3,170	1.3%	177	5.9%
4マスメディア以外 計	102,505	44.9%	110,000	46.0%	7,495	7.3%
上記種目 計	228,141	100.0%	239,108	100.0%	10,968	4.8%
上記種目以外 計	18,296		20,597		2,301	12.6%
合計	246,437		259,705		13,268	5.4%

- ◎ 4マスメディアでは、スポットが好調だったテレビとラジオが前年同期を上回る。  
◎ 4マスメディア以外では、インターネットメディアとマーケティング/プロモーションを中心に伸びる。

注① 種目別売上高での「上記種目計」と業種別売上高での「上記業種計」の金額が同額となっております。  
これは、グループ会社の一部において、現在、売上高を種目別に区分できるものの、業種別に区分できない会社があるためです。  
それらの会社の売上高は、種目別売上高において各種目別に集計しておりますが、業種別売上高においては業種別に集計していません。

# 販管費の増減（１）

（単位：百万円）

	第1四半期		前年同期比	
	'14年3月期	'15年3月期	増減額	(%)
人件費	25,598	26,750	1,151	4.5%
その他経費 合計	11,392	11,947	555	4.9%
賃借料	2,728	2,818	90	3.3%
減価償却費	469	504	35	7.5%
のれん償却額	244	286	42	17.2%
その他	7,951	8,339	388	4.9%
販管費 合計	36,991	38,698	1,706	4.6%

## 【連結範囲変更による影響も小さく、ゆるやかな費用増】

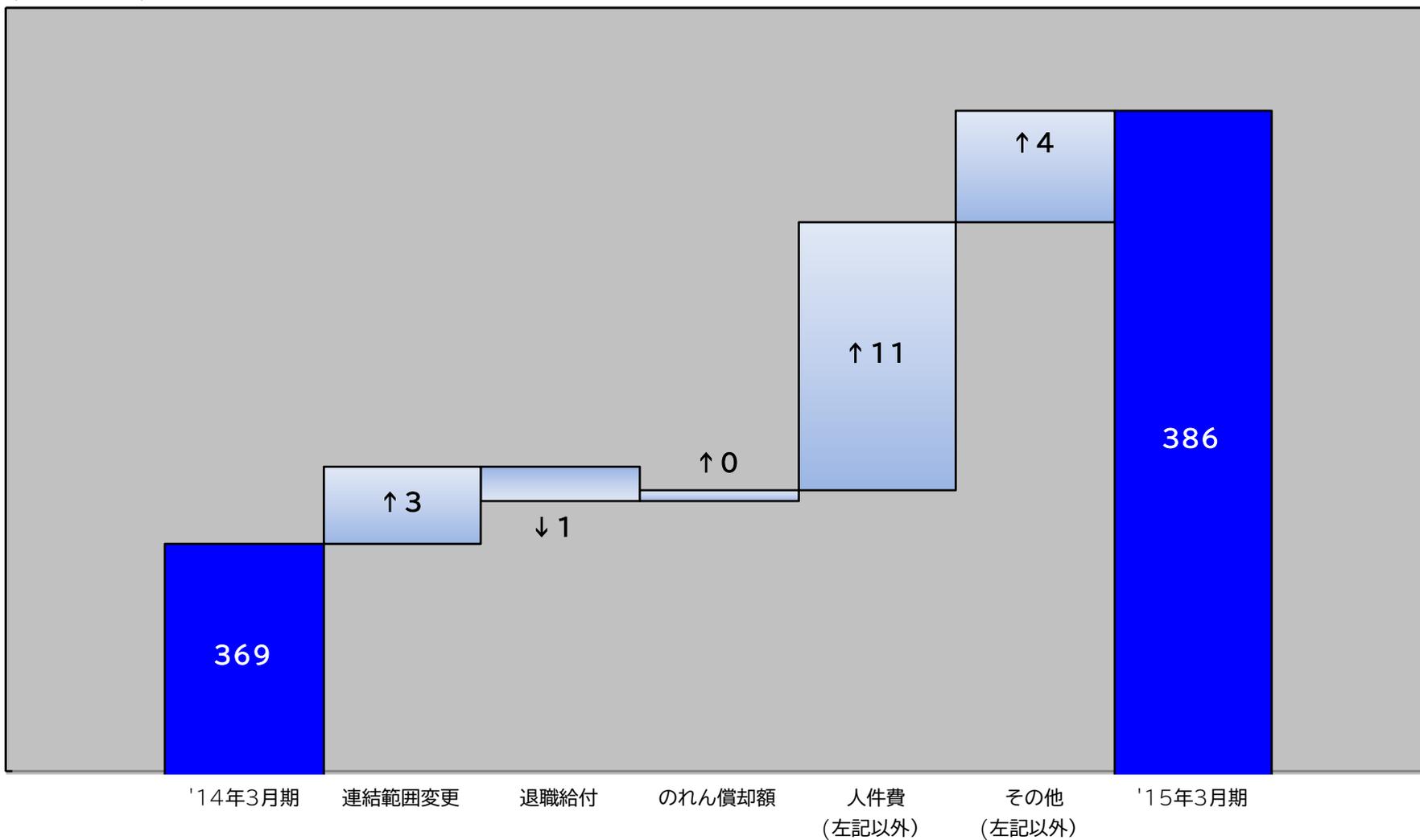
- ◎ 連結範囲変更による費用増 約3億円、退職給付費用減 約1億円、のれん償却額の増加 0.4億円、それらを除いた費用の増加は 約15億円。

## 販管費の増減（2）

(単位：億円)

2015年3月期 第1四半期

販管費 増減要因



# 営業外損益および特別損益の増減

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期比	
	'14年3月期	'15年3月期	増減額	(%)
営業外収益	699	601	(97)	-14.0%
営業外費用	299	72	(227)	-75.9%
営業外損益	399	528	129	32.5%

- ◎ 金融収支（受取利息-支払利息）： '14年3月期 +22 百万円 '15年3月期 +32 百万円 前年同期比 9 百万円増  
 ◎ 受取配当金： '14年3月期 469 百万円 '15年3月期 440 百万円 前年同期比 28 百万円減  
 ◎ 持分法による投資損益： '14年3月期 -158 百万円 '15年3月期 -20 百万円 前年同期比 138 百万円増

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期比	
	'14年3月期	'15年3月期	増減額	(%)
特別利益	72	301	228	
特別損失	229	178	(50)	
特別損益	(157)	122	279	

- ◎ 投資有価証券評価損： '14年3月期 168 百万円 '15年3月期 24 百万円 前年同期比 144 百万円減

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2014年3月末		2014年6月末		前期末比		2013年6月末	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	(%)	金額	構成比
流動資産	455,063	77.9%	409,245	75.9%	(45,817)	-10.1%	378,649	75.6%
固定資産	128,907	22.1%	130,210	24.1%	1,302	1.0%	122,076	24.4%
資産合計	583,970	100.0%	539,455	100.0%	(44,515)	-7.6%	500,726	100.0%
流動負債	313,681	53.7%	277,376	51.4%	(36,304)	-11.6%	250,562	50.1%
固定負債	15,779	2.7%	26,781	5.0%	11,002	69.7%	13,694	2.7%
負債合計	329,460	56.4%	304,158	56.4%	(25,302)	-7.7%	264,256	52.8%
株主資本	230,203	39.4%	210,261	39.0%	(19,941)	-8.7%	215,060	42.9%
評価・換算差額等	8,850	1.6%	9,006	1.7%	156	1.8%	8,796	1.8%
新株予約権	209	0.0%	148	0.0%	(61)	-29.5%	224	0.0%
少数株主持分	15,246	2.6%	15,881	2.9%	634	4.2%	12,388	2.5%
純資産 合計	254,510	43.6%	235,297	43.6%	(19,212)	-7.5%	236,470	47.2%
負債純資産合計	583,970	100.0%	539,455	100.0%	(44,515)	-7.6%	500,726	100.0%

- ◎ 現金及び預金+有価証券（流動資産）： '14年3月末 1,399 億円 '14年6月末 1,193 億円 206 億円減少。
- ◎ 受取手形及び売掛金： '14年3月末 2,766 億円 '14年6月末 2,496 億円 269 億円減少。
- ◎ 投資有価証券： '14年3月末 616 億円 '14年6月末 623 億円 7 億円増加。
- ◎ のれん： '14年3月末 35 億円 '14年6月末 72 億円 37 億円増加。
- ◎ 支払手形及び買掛金： '14年3月末 2,604 億円 '14年6月末 2,334 億円 270 億円減少。
- ◎ 長・短借入金： '14年3月末 50 億円 '14年6月末 45 億円 5 億円減少。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期比 増減額
	'14年3月期	'15年3月期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	(6,769)	(8,305)	(1,536)
投資活動によるキャッシュ・フロー	957	(5,492)	(6,449)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(1,201)	(8,735)	(7,534)
現金及び現金同等物に係る換算差額	594	(332)	(926)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(6,418)	(22,865)	(16,447)
現金及び現金同等物の期首残高	101,546	125,875	24,329
新規連結もしくは連結除外に伴う現金及び現金同等物の増減額	(157)	0	157
現金及び現金同等物の期末残高	94,970	103,009	8,039

【参考(1)：減価償却費及び固定資産の取得】

減価償却費	594	688	94
有形固定資産の取得による支出	(396)	(408)	(12)
無形固定資産の取得による支出	(569)	(373)	196
固定資産の取得 計	(965)	(781)	184

【参考(2)：上記以外の主な当期の項目】

&lt;営業活動によるキャッシュ・フロー&gt;

税引前利益 +64億円、賞与引当金 -117億円、売上債権 減少 +293億円、仕入債務 減少 -270億円、法人税等の支払 -88億円

&lt;投資活動によるキャッシュ・フロー&gt;

連結範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得 -23億円

&lt;財務活動によるキャッシュ・フロー&gt;

自己株式取得による支出 -62億円、短期借入金の純増減 -5億円、配当金の支払額 -20億円、少数株主への配当金支払額 -2億円

# 主要な子会社の業績概要

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期比	
	'14年3月期	'15年3月期	増減額	(%)
<b>博報堂（連結）</b>				
売上高	174,501	190,213	15,711	9.0%
経常利益	3,306	5,503	2,196	66.4%
当期純利益	1,371	2,994	1,623	118.4%
<b>大広（連結）</b>				
売上高	33,816	34,065	249	0.7%
経常利益	(225)	26	252	-
当期純利益	(414)	(61)	352	-
<b>読売広告社（連結）</b>				
売上高	19,360	16,543	(2,816)	-14.5%
経常利益	154	30	(124)	-80.4%
当期純利益	52	(233)	(286)	-

◎売上高は前年同期比+157億円（+9.0%）の増収。  
 増加業種：「情報・通信」「飲料・嗜好品」  
 減少業種：「出版」「家庭用品」  
 ◎増収に加え、売上総利益率も向上した一方、販管費の伸びは売上総利益の増の半分以下に留まったため、経常利益、当期純利益ともに大幅な増益。

◎売上高は前年同期比+2億円（+0.7%）の微増収。  
 増加業種：「飲料・嗜好品」「化粧品・トイレタリー」  
 減少業種：「案内・その他」「流通・小売」  
 ◎売上総利益率の向上、販管費の伸びの抑制により、経常利益は黒字を確保したが、税負担が大きく当期純利益は赤字。

◎売上高は前年同期比 -28億円（-14.5%）の減収。  
 増加業種：「食品」「交通・レジャー」  
 減少業種：「不動産・住宅設備」「飲料・嗜好品」  
 ◎売上総利益率の向上に努め、販管費を削減したものの経常利益は減益。また、税負担が大きく当期純利益は赤字。

\*博報堂、大広、読売広告社の各社の連結数値は社内管理上の集計数値で、個々に監査を受けておりません。

# 2015年3月期 連結業績見通し

# 2015年3月期 連結業績見通し（1）

## 上期 営業利益の上振れ可能性はあるが、修正せず

- ◎ 上期見通しについて、売上高は下振れる可能性があるものの、売上総利益率の向上、販管費コントロールにより、営業利益は上振れる可能性があると見ている。
- ◎ 売上高は、前年同月に大きく伸びた9月度の見通しが、現時点では読み切れない。
- ◎ 前期第2四半期は、好業績となり、営業利益のハードルは高いが、前年同期の水準を目指して取り組んでいく。
- ◎ 通期見通しについては、今後、マクロ環境が引き続き好調に推移し、計画通りの収益性を維持できれば、上振れる可能性は考えられるが、下期の動向が明確でないことから、現時点で見直しを行っていない。

## 2015年3月期 連結業績見通し (2)

2014年8月5日現在

	第1四半期				第2四半期				上期			
	'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (実績)	前年同期比		'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (差引き)	前年同期比		'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (見通し)	前年同期比	
			増減額	(%)			増減額	(%)			増減額	(%)
売上高	246,437	259,705	13,268	5.4%	258,912	276,595	17,683	6.8%	505,350	536,300	30,949	6.1%
売上総利益	40,780	44,470	3,689	9.0%	46,552	48,730	2,178	4.7%	87,332	93,200	5,867	6.7%
(売上総利益率)	(16.5%)	(17.1%)	(+0.6%)		(18.0%)	(17.6%)	(-0.4%)		(17.3%)	(17.4%)	(+0.1%)	
販管費	36,991	38,698	1,706	4.6%	37,354	41,002	3,648	9.8%	74,345	79,700	5,354	7.2%
営業利益	3,788	5,771	1,983	52.3%	9,198	7,729	(1,469)	-16.0%	12,986	13,500	513	4.0%
(ホ°レーティング°・マージン)	(9.3%)	(13.0%)	(+3.7%)		(19.8%)	(15.9%)	(-3.9%)		(14.9%)	(14.5%)	(-0.4%)	
営業外損益	399	528	129		594	872	278		993	1,400	406	
経常利益	4,187	6,300	2,112	50.5%	9,792	8,600	(1,192)	-12.2%	13,980	14,900	919	6.6%
特別損益	(157)	122	279		1,233	(372)	(1,605)		1,075	(250)	(1,325)	
税引前利益	4,030	6,423	2,392	59.4%	11,025	8,227	(2,798)	-25.4%	15,056	14,650	(406)	-2.7%
当期純利益	1,299	2,773	1,474	113.5%	6,029	4,677	(1,352)	-22.4%	7,328	7,450	121	1.7%

(ホ°レーティング°・マージン) = 営業利益/売上総利益

のれん償却額	244	286	42	17.2%	249	314	65	26.1%	493	600	107	21.7%
のれん償却前営業利益	4,033	6,058	2,025	50.2%	9,446	8,042	(1,404)	-14.9%	13,479	14,100	621	4.6%
のれん償却前 ホ°レーティング°・マージン	9.9%	13.6%	3.7%		20.3%	16.5%	-3.8%		15.4%	15.1%	-0.3%	

# 2015年3月期 連結業績見通し (3)

【参考】 2015年3月期 連結業績見通しの考え方 (2014年5月9日発表)

## 新中期経営計画初年度は、増収、増益見通し

- ◎ **マクロ環境**：国内広告市場の伸びは、+2~3%程度  
回復傾向にある国内経済を背景に、国内広告市場も緩やかな伸び。  
アジアを中心とした海外広告市場は、国内よりも高い伸びを期待。
- ◎ **売上高**：1兆1,510億円、前年同期比 +5.0%  
中期経営計画の戦略を着実に実行し、広告市場の伸びを上回る成長、シェア向上を目指す。
- ◎ **売上総利益**：2,015億円、前年同期比 +6.0%  
高い売上総利益率水準を維持し、新規連結子会社の寄与を取り込み、増益を目指す。
- ◎ **販管費**：1,660億円、前年同期比 +6.3%  
のれん償却額の増加や戦略的な費用投下はあるが、販管費の増加率を売上総利益の伸びに近い水準でコントロールする。
- ◎ **営業利益**：355億円、前年同期比 +4.7%
- ◎ **オペレーティング・マージン**：17.6%、前年同期から0.2ポイント低下
- ◎ **のれん償却前営業利益及びオペレーティング・マージン**：368億円、18.3%  
のれん償却額の見通しは13億円。好調な外部環境もあり前年同期並みの高い収益性を維持する。
- ◎ **当期純利益**：189億円、前年同期比 +1.0%  
前期に発生した特別利益が無くなるため、当期純利益は微増。
- ◎ **1株当たり配当金**：安定配当の考え方を基本とするが、業績の動向などを総合的に勘案し、前期の12円から3円増配し、年間15円の予定。

## 2015年3月期 連結業績見通し (4)

## 【参考】2014年5月9日発表

2014年5月9日現在

(単位：百万円)

	上期				下期				通期			
	'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (見通し)	前年同期比		'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (見通し)	前年同期比		'14年3月期 (実績)	'15年3月期 (見通し)	前年同期比	
			増減額	(%)			増減額	(%)			増減額	(%)
売上高	505,350	536,300	30,949	6.1%	590,559	614,700	24,141	4.1%	1,095,909	1,151,000	55,090	5.0%
売上総利益	87,332	93,200	5,867	6.7%	102,817	108,300	5,483	5.3%	190,150	201,500	11,349	6.0%
(売上総利益率)	(17.3%)	(17.4%)	(+0.1%)		(17.4%)	(17.6%)	(+0.2%)		(17.4%)	(17.5%)	(+0.2%)	
販管費	74,345	79,700	5,354	7.2%	81,887	86,300	4,413	5.4%	156,233	166,000	9,766	6.3%
営業利益	12,986	13,500	513	4.0%	20,929	22,000	1,071	5.1%	33,916	35,500	1,583	4.7%
(ホ°レティング・マージン)	(14.9%)	(14.5%)	(-0.4%)		(20.4%)	(20.3%)	(-0.0%)		(17.8%)	(17.6%)	(-0.2%)	
営業外損益	993	1,400	406		522	700	178		1,515	2,100	584	
経常利益	13,980	14,900	919	6.6%	21,451	22,700	1,249	5.8%	35,432	37,600	2,167	6.1%
特別損益	1,075	(250)	(1,325)		531	(250)	(781)		1,607	(500)	(2,107)	
税引前利益	15,056	14,650	(406)	-2.7%	21,983	22,450	467	2.1%	37,039	37,100	60	0.2%
当期純利益	7,328	7,450	121	1.7%	11,393	11,450	57	0.5%	18,721	18,900	178	1.0%
1株当たり配当金 (株式分割後換算)	6.0円	7.5円			6.0円	7.5円			12.0円	15.0円	3.0円	

(ホ°レティング・マージン) = 営業利益/売上総利益

のれん償却額	493	600	107	21.7%	490	700	210	42.9%	983	1,300	317	32.2%
のれん償却前営業利益	13,479	14,100	621	4.6%	21,420	22,700	1,280	6.0%	34,899	36,800	1,901	5.4%
のれん償却前 ホ°レティング・マージン	15.4%	15.1%	-0.3%		20.8%	21.0%	0.1%		18.4%	18.3%	-0.1%	

# Hakuhodo DY holdings

博報堂DYホールディングス

本資料では、株式会社博報堂がユニバーサルデザインの発想に基づき、誤認を防ぐこと、可読性を高めることを目的に、株式会社タイプバンク、慶應義塾大学と共同開発した独自のフォントである「つたわるフォント」を使用しています。

